

対話による絵画鑑賞で思考力高める

VTS (Visual

Thinking S

trategies)と

呼ばれる「対話型鑑賞」

は、1991(平成3)

年ニューヨーク近代美術

館で開発・導入された鑑

賞教育方法である。本校

では2018(平成30)

年以降「思考と表現」の

①

トキワ松学園中学校高校

〈1〉

新連載

魅力発信
わが校の実践

授業でVTSを実施して

いる。「思考と表現」

は、教科学習の基盤とな

る思考力を高めるための

授業で、中1・高1の生

徒を対象に司書教諭が図

書室で行っている。独自

カリキュラムを作成し、

そこにVTSを位置付け

た。

授業では、絵をじっくり

りと見て、その絵の中で

何が起きているか、どん

な感じがするかを発言す

る。「絵のどこから」そ

う感じるかを考え、言語

化して他者と共有する。

シンプルな活動だが、思

考力を高め、豊かにする

ためのポイントがある。

まずファシリテーター

雰囲気をつくることで対
話が真剣な取り組みに発
展し、他者を尊重した温
かな人間関係の構築につ
ながる。

VTSの大きな魅力

は、知識に頼らず作品を

よく観察し、対話を通じ

て考えを深め合うこと

で、作品・自分・他の鑑

賞者との間に新たな関係

性が生まれることにあ

る。校内教員研修で芸術

資源開発機構ARDAに

よるVTS講座を行い、

ぜひ生徒にも体験させた

いとの総意も得ていた。

本校の教育理念は「多

様な価値観を持つ人々と

共に未来の社会を創造

する『探究女子』の育
成」。多様な価値観との

出合いを体験できるVT

Sは、まさに教育理念に

ふさわしいと考えた。加

紹介する。

えて高校には美術デザイ
ンコース、併設大学とし
て横浜美術大学があり、
校内にアート作品が常時
展示されている。この環

境を意識的に活用し、思

考力を高めたいとも考え

た。

VTSはどの生徒にも

気付きをもたらす。感覚

の言語化で思考のメタ認

知が起きる。観察の積み

重ねで問い続ける姿勢が

受容され、気付きの共有

で他者への興味が深まり

自己肯定感が向上。こう

した特性を踏まえ、美術

ではなく「思考と表現」

の授業で実施している。

(松本理子・中学校教

頭)

◇

この連載では、学校の

特色や魅力などについて

紹介する。